

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由		
家計動向関連 (東海)	良くなる	商店街（代表者）	・東京都知事が新しく決まり、前向きに考える人が多くなる。		
		一般レストラン（従業員）	・花火大会があった時は、テイクアウト、店内飲食共に非常に売行きが良く、久しぶりに達成感を感じたので、暑い時期はとて忙しくなる。		
	やや良くなる	一般小売店〔土産〕（経営者）	・伊勢志摩サミットの効果で、今後も増加が続く。		
		百貨店（経理担当）	・米国経済の持ち直しや、中国の過剰債務・設備解消の進展を受けて、秋口当たりからは、景気はわずかながらも上向きに転じる。		
		スーパー（販売担当）	・20日間ほど閉店して10月に改装オープンする。売場面積は減るが、店がきれいになり、ポイントカードも始めるので、来客数も増える。		
		コンビニ（エリア担当）	・販売什器等の設備投資と品ぞろえ強化を維持し、来客数と客単価の改善が続く。また、テレビCMの延べ視聴率増加を図ることで告知を強化することにより、一層の改善を期待する。		
		家電量販店（店員）	・新作スマートフォン向けゲームの登場で、モバイルバッテリーの売行きが良い。スマートフォンの買換えも進む。		
		家電量販店（店員）	・リオオリンピックもあり、景気が良くなるように期待したい。例年オリンピックイヤーには映像商品が動くので、前年を上回る売上を見込む。		
		乗用車販売店（経営者）	・今年前半と比べて確実に動きが変わっているため、今後に期待する。		
		乗用車販売店（従業員）	・7月は売行きが悪く、動きも悪かったが、感触は悪くない。2～3か月のスパンで見れば、全体的に悪くはない。		
		乗用車販売店（従業員）	・東京都知事選挙が終わって、政治の動きが一段落すると、そこからは少し安定する。東京オリンピックもあり、少しずつ良くなっていく。		
		乗用車販売店（総務担当）	・政府の景気対策が具体化すれば、消費者心理も改善する。		
		その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・人手不足に伴い、賃金の上昇が浸透している。		
		旅行代理店（経営者）	・特に不安材料もなく、先行きの景気は良くなる。		
		通信会社（営業担当）	・今後も、好調が年度末くらいまでは続く。		
		美顔美容室（経営者）	・8～12月はホームケアキャンペーンが始まり、毎年、この時期に購入する客が来店する。		
		住宅販売会社（従業員）	・消費税増税の再延期で駆け込み需要の期待はなくなり、客の動きは落ち着いている。マイナス金利政策が続き、固定金利は史上最低で、ローンを組む上では先を見据えた計画を立てやすく、お盆休み以降の動きに期待ができる。		
		その他住宅〔室内装飾業〕（経営者）	・見積り依頼等の動きをみると、企業の設備投資や個人の新築物件が増加しそうだ。		
		変わらない		商店街（代表者）	・購買意欲はみられるが、販売量の増加につながらない。
				商店街（代表者）	・景気は底入れしていると感じるが、販売量から見ると、良くなっているとは全く感じられない。
				商店街（代表者）	・必要最小限の物しか買わない状況が続いているので、なかなか上向きにならない。
				商店街（代表者）	・ターミナル駅周辺に関しては、今後もまだ商業施設がオープンするので、秋口までは変わらない。
一般小売店〔結納品〕（経営者）	・景気が良くなる理由が全く見当たらないので、このまま停滞する。				
一般小売店〔土産〕（経営者）	・わずか2～3か月では、これまでの大きく状況が変わることはない。				
一般小売店〔生花〕（経営者）	・しばらくは現状のままが続く。				
一般小売店〔薬局〕（経営者）	・夏休みやお盆等で旅行等に行く人が増え、来客数は減り、売上は期待できない。栄養ドリンク剤等は良く売れるが、安売りで利益にならない。化粧品や調剤部門は横ばいである。どこの店の店長や社長も、愚痴が多くなっている。				
一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。				
一般小売店〔書店〕（営業担当）	・秋に向けて例年並みの受注量が期待される。				
一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・英国のEU離脱問題等の影響が、これからどの程度出てくるかわからないので、何ともいえない。				

百貨店（企画担当）	・参議院選挙で与党が大勝し、経済優先の方向性が示された点は景気に対してプラスであるが、具体策や財源等が不明確で、将来への不安から貯蓄を優先する可能性が非常に高い。7月も中旬までは堅調に推移したが、後半に入って消費者の購買意欲が一気に低下し、今後数か月は、この傾向が続く。
百貨店（販売担当）	・販促企画を行えば来客数や売上が増加するため、今後の施策によって、好不調は変化する。
百貨店（販売担当）	・英国のEU離脱問題や中国経済の減速等の不安定要素があり、購買意欲を刺激する材料に乏しい。
スーパー（経営者）	・円高が続く、輸出企業も以前のような利益が確保できない。新興国でも特に中国の経済が悪く、欧州経済にも影響する。我が国の景気も良くはならない。
スーパー（経営者）	・伊勢志摩サミットの効果は、期待したもからはほど遠く、今後も期待できそうにない。
スーパー（店長）	・消費税増税は再延期されたが、先行き不安が強く、思い切って金を使える状況にはなっていない。必要な物は買うが、何でも買うというほど景気が良くなっている様子ではない。
スーパー（店員）	・販売量がなかなか増えず、限られた数量しか売れない状況が続いている。景気が良くなっていく流れには結び付いていない。
スーパー（店員）	・特にマイナス材料となりそうな出来事がないので、しばらくは変化がない。
スーパー（総務担当）	・お中元の販売数、販売額共に、前年より少ない。
スーパー（販売促進担当）	・売上、来客数は相変わらずで、景気が良くなっているという状況ではない。
スーパー（企画・経営担当）	・進物やお中元の売行き次第である。ボーナスを食費の増加に回す家庭は少なそうである。
スーパー（支店長）	・目を引く景気対策や、売上増加につながるような案が見つからない。
コンビニ（企画担当）	・今後良くなる要因が見当たらず、先行きの不安感がある。
コンビニ（店長）	・悪くなる理由も、良くなる理由も見出せない。
コンビニ（エリア担当）	・良い商品に対しては、客の反応も良くなっているが、競争の激化で打ち消されてしまう。
コンビニ（エリア担当）	・7月と同様の状況が当面は続く。
コンビニ（店長）	・うなぎやその他の商品のセールでも、客は金を使わない。身の回りの最低限の商品だけを買って、余分な物は買わないという消費スタイルが、ずっと続いている。
コンビニ（商品開発担当）	・消費者には相変わらず安価な物を求める動きがあり、当面、この動きは変わらない。
衣料品専門店（経営者）	・残暑で、秋物の出足が鈍くなる。
衣料品専門店 [紳士服洋品]（売場担当）	・参議院選挙での与党の圧勝で、経済政策に期待はするが、この数か月の状況をみる限り、アパレル業界の厳しさは、簡単には変わらない。
乗用車販売店（営業担当）	・人気車種の新型車投入効果で、客の動きが良くなってきているが、円高、株安がマイナス要因で、結果的に変わらない状況である。
乗用車販売店（経営者）	・消費が積極的になる材料が見受けられない。
乗用車販売店（経営者）	・先行きも、取り立てて悪くなりそうな要因は見受けられない。
乗用車販売店（従業員）	・秋に向けて新型車両の発売が予定されている。客の財布のひもは固いが、少しでも車に興味を持ち、来店につながるよう期待する。最近の話題では自動運転技術に関心を持たれている。メーカーには安全装備をより多くの車種に設定し、客にアピールして欲しい。
乗用車販売店（従業員）	・良くなる要素としては、追加の経済対策がどのようなものがポイントとなる。悪くなる要素としては、円高、世界経済の動きがポイントとなる。プラスマイナス両面があり、先行きがどうなるかが読めない。
乗用車販売店（経理担当）	・低迷する個人消費を喚起する景気刺激策があれば別だが、今のところ大きくは変わらない。
乗用車販売店（販売担当）	・新型車種が出る予定もないので、良くなることも悪くなることもいえない。
住関連専門店（営業担当）	・建築業界全体が様子見で、新築物件の動きが落ち着いている。一方で、リニューアル工事や大規模改修物件は増えているため、プラスマイナスでは変わらない。
その他専門店 [雑貨]（店員）	・先行きの天候が読めないため、期待はできない。

その他専門店 [書籍] (店員)	・なかなか本が売れない時代で、他店も厳しい状況にある。本離れが進んでいくように感じており、売上の増加を見込むのは難しい。
その他専門店 [雑貨] (店員)	・景気対策が検討されているが、先行きも現状維持が精一杯である。
その他専門店 [貴金属] (営業担当)	・足元からこの先2～3か月はリゾートに金を使う傾向となるので、宝飾品の動きは少し鈍る。今後2～3か月は、販売量も現状のまま変わらない。
その他小売 [陶器卸] (営業担当)	・景気が上向き要因が見当たらない。
高級レストラン (役員)	・夏休みやお盆期間の予約状況は、前年同期並みで推移している。
一般レストラン [パン・カフェ] (経営者)	・様々な業種の経営者から話を聞いても、景気は今一つ良くないように見受けられる。
一般レストラン (経営者)	・夏祭り、花火、イベント等が多いので横ばいである。
一般レストラン (経営者)	・自分の身の回りでは、景気が良くなる要素が見当たらない。
スナック (経営者)	・この先は休みが多い時期に入り、家庭サービスを大事にする客が多いため、客足の伸びは期待はできない。
観光型ホテル (経営者)	・9～10月の予約は、前年比で多少プラスとなっており、足元の好況が続く見込みである。世界経済等、不安な面もあるが、当業界は景気が良くなるのも悪くなるのも後の方といわれている。団体客が主流で1年前から予約が入っているため、景気の動きもすぐには影響しない。今のところキャンセルもなく予約が実行されている。
観光型ホテル (販売担当)	・関東方面からの宿泊宴会予約が順調に入っているが、秋口の予約状況は、前年同月比では5～6%低く、今のところは回復しそうな兆しはみられない。
都市型ホテル (営業担当)	・為替の影響等でインバウンドの動きが不明なので、現状から変わらない。
旅行代理店 (経営者)	・景気の良いのは本当に一部の企業のみで、ほとんど景気の悪い話を聞くことはない。先行き不安で設備投資や福利厚生への支出は少なく、ゼロ金利政策が全く活かされてない。
旅行代理店 (経営者)	・インバウンドの受入れ国の拡大と規制緩和により、量的拡大はできるが、地方にまで波及させるには時間がかかる。受入れには、宿泊施設のようなハード以外にも、人的なソフトの育成に時間がかかるほか、受入れに対する感情的な障害の除去が重要である。
旅行代理店 (経営者)	・金を使える層は常に決まっているので、2～3か月後に来客数が増えるとは思えない。消費をしたり旅行をする層は、既に来年度を見据えて旅行の計画をしている。
旅行代理店 (経営者)	・涼しい日が続いたり、リオオリンピックの開幕が迫ったり、客は夏の旅行への意欲が高まっていない。秋以降の対策に早めに切替えたい。
旅行代理店 (従業員)	・旅行申込の状況を見ると、欧州で相次ぐテロで海外旅行は大きく減少している。国内旅行も金をかけない節約旅行が増えており、インバウンドも爆買いツアーから観光重視に変わり、消費は減少している。先行きが良くなる要素は今のところ見当たらない。
タクシー運転手	・英国のEU離脱問題等、不安材料が一杯である。円高や株価の変動もあり、景気がどうなるか心配である。今のところは、大きく変わる要素もないので、このまま変わらない。
タクシー運転手	・良くなる要素が見当たらない。
通信会社 (企画担当)	・政治、経済、社会のどの面からみても、あまり明るい話題がなく、先行きの不透明感は一層強まっている。
通信会社 (サービス担当)	・1人1台のスマートフォンの普及により、固定電話の解約は、これからも増え続ける。
通信会社 (営業担当)	・時期的な要因も重なり、悪いままから変化はない。
テーマパーク (職員)	・オリンピックの年なので、家でのテレビ観戦が多くなる。
テーマパーク職員 (総務担当)	・上向き要素が見当たらない。世間で話題の新作スマートフォン向けゲームも、当園には影響が少ないという報告もある。
観光名所 (案内係)	・7月末で4つの台風が発生している。自然現象はどうしようもないが、天候次第で景気にもかなり影響が出てくるため、あまり期待はできない。
ゴルフ場 (企画担当)	・9月は、施設平均でほぼ前年同月並みの予約数である。最近の様子を見ると、これから大きく来客数が伸びるとは思えず、景気は変わらないまま推移する。

	美容室（経営者）	・金に余裕がある時期にもかかわらず、客にはあまり動きがみられない。
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・介護保険制度の見直しにより、サービスの利用者数が減少する可能性はあるが、競合する事業所数が頭打ちからやや減少傾向にあるため、大きな変化はない。
	設計事務所（経営者）	・全体として案件数は少なく、規模は小さいままで安定している。
	住宅販売会社（従業員）	・当分は現在の状況が続く。
	住宅販売会社（従業員）	・住宅関連の工事の受注量は、現在でも少ないのでこれ以上は減りようがない。住宅ローンの金利引下げも、住宅関連産業の底上げにはつなげていない。
	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	・来客数は横ばい傾向で、金額でも常に交渉を迫られる状況が続く。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・前月は好成績だったが、7月はその勢いは持続しなかった。もしこのままのペースで下がれば、2～3か月後には元の低水準に逆戻りする。
	一般小売店〔書店〕（経営者）	・競合店が店内改装をする等、強力な攻勢に出ているので、しばらくの間は前年より業況が少し悪くなる。
	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・先行きへの不安感から、プレゼントの贈り先を増やしたり交友の輪を広げることを強く自粛し、贈答品店で金を使う機会は減るように感じる。節約志向でどちらかといえば、貯金をする方向に向かう。
	百貨店（売場主任）	・客の様子では、安くて良い物を探している客が多い。値段が安いからといって商品に妥協する客は少ない。まとめ買いをする客も少なくない。8月に値段が少し上がる商品もあるので、靴を購入する客が段々と減ってくる。買換えを先延ばしする人が多くなり、売上は一層厳しくなる。
	百貨店（販売促進担当）	・インバウンドや富裕層の売上の低下が続く。
	百貨店（計画担当）	・秋物の立ち上がりの動きをみると、特に、婦人服には勢いが感じられない。
	百貨店（経営企画担当）	・円高等、企業の業績を取り巻く環境が悪くなっている状況で、そのような空気が消費にも悪い影響を及ぼしている。
	スーパー（店長）	・今のところ来客数は上昇しているが、近隣の競合店との価格競争も厳しくなっており、前年割れに突入する恐れがある。
	スーパー（人事担当）	・最終的にはお盆の状況をみないと判断がつかないが、足元の商品の動きは鈍い。
	スーパー（商品開発担当）	・7月は売上が前年の99%、来客数は98%、購入点数が97.8%と、上期中で最も悪い数字となっている。競合店の出店が加速するなか、客足を取り戻す対策は思うように効果が出ず、苦戦はまだ続く。
	スーパー（営業企画）	・ここ数か月、売上には徐々に陰りが出ており、この傾向が一層強くなる。金融緩和と政策追加の動きもあるが、かえって景気の停滞感を募らせるように感じられ、消費行動は慎重になる。
	スーパー（ブロック長）	・株価の下落や牛肉を代表とする食料品の値上げ等、マイナス要因が強い。
	コンビニ（企画担当）	・安定志向の人が増え、状況が良くなくても、こんなものかと肯定するムードである。変化の兆しがあるとすれば技術であり、新作スマートフォン向けゲームが国内から海外にまで広く拡大すれば、人の行き来が活性化する。
	コンビニ（エリア担当）	・客の購買意欲が回復する雰囲気は全くない。高い商品が全く売れなくなってきた、安売り商品も以前ほどは売上が伸びない。この先は更に悪くなる。
	コンビニ（店長）	・コンビニ以外のドラッグストア等、異業種との競合による影響が少しずつ出ており、その影響は今後も続く。
	衣料品専門店（販売企画担当）	・一時は売上も増加し、回復傾向とも見受けられたが、ここに来て、再び落ち込み続けている。
	乗用車販売店（従業員）	・新型車種の発表等、新車の販売増加につながる要素がなく、ここ2～3か月の状況から考えると、販売台数は更に落ち込む。
一般レストラン（従業員）	・夏に消費した分、その先の財布のひもは固くなる。	
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・何らかの、これで景気が良くなると確信を持てるものがないと、なかなか景気は上向かない。	
都市型ホテル（従業員）	・予約数から先行きはやや悪くなる見込みである。	

		都市型ホテル（経営者）	・不安定要素があり、景気の先行きが見通せない。
		都市型ホテル（支配人）	・競争の激化が見込まれる。
		都市型ホテル（経理担当）	・宿泊人員が伸び悩んでいる。
		パチンコ店（経営者）	・業界全体が薄利多売に移行しているため、競争が激化している。
		理美容室（経営者）	・客との話で、様々な物の値段が上がって給与は上がらないため、景気は段々悪くなる。
		美容室（経営者）	・客が高齢化してきているので、伸び悩んでいる。
		美容室（経営者）	・地域全体の景気が良くない。職場がなく、良くなる兆しがない。
		設計事務所（職員）	・輸出に関しては、基本的に円高が続くそうである。景気対策も具体的な時期等の話が聞かれず、安心材料がない。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・材料の品質よりも価格に関心が向き、低価格の材料での受注が増えている。特に賃貸物件は低価格傾向となる。景気の良い話は聞かない。
	悪くなる	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・外食への支出をみると、財布のひもは固くなっている。外で夕食をとる時も、アルコール等の金のかかる飲料は控え、無料の水だけで済ませる客が増えている。
		一般レストラン（経営者）	・世界の国々が急激な変化を迎えており、先行きの方向性が見えない。
		理容室（経営者）	・周りでは、景気の良い話は、少しも出てこない。
		住宅販売会社（経営者）	・先行きが不透明で、不安が広がっている。現在は不安要素が多く、先行きは一層悪くなる。
企業動向関連 (東海)	良くなる	-	-
	やや良くなる	電気機械器具製造業（企画担当）	・テロが続く等、国際社会情勢に不確定要素は残るものの、年末商戦に向けて、売上は徐々に伸びていく。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・案件の1つが1年半かかる長期プロジェクトで、当面は新規案件を探す必要がない。
	変わらない	食料品製造業（営業担当）	・取引先の販売業や製造業では、来月以降の受注量、生産量共に例年以下で、人件費の問題から雇用の確保が難しくなるかもという声を多く聞く。残った人や企業には景気の変動はないが、職を失う人も多く出そうな状況である。
		食料品製造業（経営企画担当）	・先行き不安からか、消費には勢いが欠けている。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・例年は、需要が多くなる時期だが、天候不順や英国のEU離脱問題等で、今年はあまり期待できず、景気は今と変わらず、あまり良くない。
		化学工業（総務秘書）	・採用は売手市場の様で、人手不足感があるということは、景気は悪くはない。しかし、所得格差は拡大しており、所得の低い層では景気が悪いと感じ、今後、社会が不安定にならないことを望む。今すぐに社会が不安定になることはないため、景気は横ばいである。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・新分野の製品はまだ伸びる可能性が高く、他の製品の売上が若干減少している分を、十分に補うことができる。
		鉄鋼業（経営者）	・すぐに大型の物件や見積り依頼があるわけではなく、夏場は落ち込む時期でもあるので、現状より上向き可能性は低い。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合いも減少しており、引き続き変わらない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・受注状況に変動はない。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・円高が続くが販売価格を変更することはできないので、利益を確保できていない。米国の自動車部品製造者からの引き合いは多いが、親会社の都合で突然計画が中止や延期になることが増えている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・働く者としては、収入が増えたわけでもなく、アベノミクスの効果はさほど感じられないので、最終的に消費が増加するとは考えにくい。海外向けも、為替次第でどうなるかわからない。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・客先の生産計画では、横ばいの見通しである。
		輸送用機械器具製造業（研修担当）	・受注量は増えているものの、熊本地震の振替的な要素が強く、今後も大幅な改善は見込めない。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・世界経済では、中国の景気減速や英国のEU離脱問題等があるが、為替相場はいったん円高に向かったものの、円安方向に戻っているため、先行きも変わらない。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・円高の影響を受け、利益は引き続き低調な見込みである。

建設業（経営者）	・当地の主要産業である自動車産業では、円高に対する不安が現実となっている。現時点では大きな変化はないが、今後の消費者のマインドに、どのような影響があるかは未知数である。	
輸送業（従業員）	・上昇していた原油価格がまた下降傾向となり、コスト面で物流業界には一服感がある。トラックは需要が多く、納車まで1年以上かかる状態である。バスは更に納車に時間を要し、業界によって景況感には差異がある。	
輸送業（エリア担当）	・貿易関連の企業は、為替の動向の様子見である。	
輸送業（エリア担当）	・主要荷主からは、明るい話が1つも聞こえてこない。	
輸送業（エリア担当）	・今の日本経済は、購買意欲を刺激するような新製品が生み出せない。経済全体がこうした流れのなかで、起爆剤になるとすれば、政府主導による経済政策である。今のところそういう動きはみられないため、景気の先行きは、現状のままである。	
通信会社（法人営業担当）	・28兆円の補正予算、電力会社の料金値下げ、有効求人倍率は全都道府県で1倍を超え、消費者物価指数が4か月連続で前年同月を下回る等、景気の上向き要因がどこまで個人消費を押し上げるかによる。英国のEU離脱問題により為替や株価は、以前の水準に戻っているが、9月以降に離脱の動きが本格化するかは不透明である。	
通信会社（法人営業担当）	・アベノミクスでは追加の経済対策が検討されているが、大企業から中小企業への浸透速度の問題なのか、取引先からは、なかなか景気の良い話は聞こえてこない。いつになったら経済対策の効果が、多くの企業や消費全体に広がるのかわからず、不安さを感じる。	
金融業（法人営業担当）	・地元自動車メーカーでは、当面の国内生産計画は前年並みであり、地域全体の生産も堅調に推移する。	
金融業（企画担当）	・株式相場が好転しなくては、個人投資家の投資意欲も購買意欲も戻ってこない。	
不動産業（用地仕入）	・景気を大きく左右する要因が見当たらない。	
企業広告制作業（経営者）	・新作スマートフォン向けゲームが経済全体を押し上げるわけではない。一過性の社会現象に一喜一憂していても、ぜい弱な経済体制の本質は変わらない。関西の家電メーカーの例でも、再建は困難なことを印象づけられた。英国のEU離脱問題の影響は、現段階ではみられないが、米国の大統領選挙の行方も不透明で、不安定要因が多い。テロ対策も打つ手を失っている。こうしたムードのなかでは、景気が良くなるはずはない。	
広告代理店（制作担当）	・秋の商戦に向けて、特別な動きはまだなく、各企業とも様子をうかがっている状態である。	
公認会計士	・政府の中小企業施策は、総花的で具体性を欠いており、中小企業の業績の実態を把握していない。	
行政書士	・燃料価格が今年に入って下がっており、経営的には赤字の縮小が続いている。	
会計事務所（職員）	・リオオリンピックや東京オリンピックに期待をしつつも世界経済が落ち着かない状況では希望が持てず、投資意欲も湧いてこない。	
その他非製造業【ソフト開発】（経営者）	・景気の循環において、現在が底なのか更に下があるのか判断がしづらい。我が国の経済にとっては、1ドル100円程度ならば何とか対応できる範囲である。個々の企業としては新製品の開発が求められる。	
やや悪くなる	印刷業（営業担当）	・業種のためか、地方の事情なのか、周りも含めて景気に関する良い話は聞かない。
化学工業（営業）	・原料価格が若干値上がりする見込みである。値上げ幅が小さく客への転嫁が厳しいため、7月と比べて収益が若干悪くなる。	
化学工業（人事担当）	・英国のEU離脱問題の影響がどうなるか不明であるが、円高の進行やテロの懸念等、景気にとって悪い話ばかりでしばらく景気が良くなるとは思えない。	
金属製品製造業（従業員）	・今年度の仕事量に関しては、悲観的な声がよく聞かれる。	
電気機械器具製造業（営業担当）	・円高の影響が続く。	
輸送業（経営者）	・運転手や倉庫内作業員の不足が深刻である。多少の物量減では、必要な人手は変わらず、派遣人材の多用で大幅なコストアップが想定される。	
輸送業（エリア担当）	・人員不足を補うために、時給や外注単価を上げざるを得ないが、客からは適正な単価を得られる状況にはなっていない。	

		金融業（従業員）	・自動車産業は現状もあまり良くないなかで、数か月後にも回復の見込みもなく、見通しはあまり良くない。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・客層の高齢化、若年層の購買力の低下、人材確保も困難なことから、先行きもやや悪くなる。
		会計事務所（社会保険労務士）	・客先の個人飲食店では、来客数、客単価共に下降気味である。ボーナスが支給されても、消費より貯蓄に回っている。
	悪くなる	出版・印刷・同関連産業（代表）	・消費者と直接的に向き合っている客からは、先行きへの不安の声が強くなっている。将来への不安感がなくなる限り、見通しは暗い。
		電気機械器具製造業（経営者）	・客先の業界では、監督機関による指導の影響で、設備投資が当社製品に関連する部分以外に流れるため、当社製品の出荷は減少する。
雇用 関連 (東海)	良くなる	人材派遣会社（支店長）	・契約開始の派遣労働者数と契約終了者数の差がプラスになっている。人材調達の環境が厳しくなっていることもあり、派遣先の意向で契約終了となるケースが前年より大幅に減っているため、稼働者数の増加に伴う売上増加は、しばらく続く。
	やや良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・年度下期に向けて、転職希望者や求人も増えることにより、派遣市場は活発化してくる。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・下期の生産体制を安定させるために、今から人材を確保し、採用した人材の定着率を上げようという動きがある。
		職業安定所（職員）	・大規模な経済対策が予定されており、人手不足が厳しくなると見込まれる。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・この先の予約状況も良く、現状の好調さは変わらない。
		人材派遣会社（営業担当）	・先行きにポジティブな材料が見当たらない。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・変化する要因が見当たらない。
		職業安定所（所長）	・賞与水準が前年より良くなったという企業はみられず、従業員の賃金等、待遇改善が進んでいないため、消費が活性化する材料が見受けられない。
		職業安定所（職員）	・求人数、求職者数共に減少が続いている。
		職業安定所（職員）	・求人、求職が悪化する要因は見当たらないが、今後、中国経済の減速や消費税増税の再延期等の影響が懸念される。
民間職業紹介機関（営業担当）		・雇用環境は好転する可能性はあるが、夏場を迎え10月転職を目指す人が増える時期であるため、先行きが見通しづらい。	
民間職業紹介機関（窓口担当）		・足元の求人動向に変化はなく、人手不足の感が否めない。受注はあるが、業況が大きく上下する要因は考えにくい。	
民間職業紹介機関（支社長）		・採用意欲も活発にみられ、求人数にあまり変化はないと見込まれる。	
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・インターンシップに参加する学生が多い時期だが、前年以上の受入れ企業、参加者数で、対象学年の拡大もみられる。	
	その他雇用〔広告代理店〕（求人広告担当）	・当分変化はない。	
やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・周りの製造業等の動きから、先行きの営業状況は不安定な見通しである。大手製造業の予算削減で影響を受ける企業は多い。徐々に他の製造業にも影響が広がり、2～3か月先には身の回りの景気は、現状よりやや悪くなる。	
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・参議院選挙も終わり、夏休みを挟んで少しは良くなるとの望みを持つが、良くなるための材料が少なすぎる。まずは、安心して金を使えるムード作りが必要である。	
	職業安定所（職員）	・医療・介護分野では、慢性的な人手不足で引き続き求人が多いと考えられるが、製造業では、円高による影響が懸念される。	
悪くなる	人材派遣会社（社員）	・慢性的な人材不足が続いているため、企業が予定した雇用を確保できず、生産性が低下する。	